

ATIS 第 375 回例会報告

今回の例会は、名古屋市金城ふ頭にある「リニア・鉄道館」の施設見学、ポートメッセなごや交流センター会議室で代表幹事報告とシンポジウムを行いました。当日は雪による交通機関の遅れなど参加者の集まりを心配しましたが、30名超えの参加者で予定通りに実施できました。

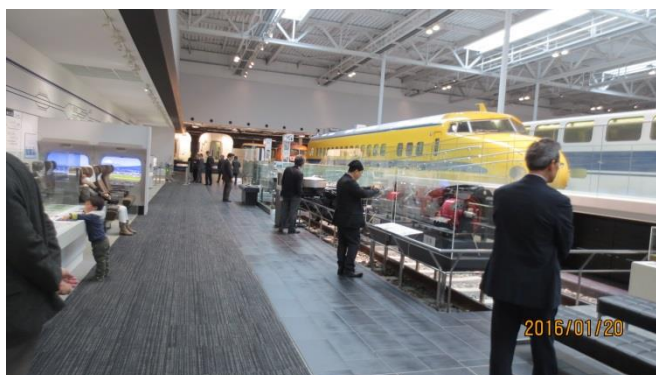


「リニア・鉄道館」は、入場するとC62 蒸気機関車、300X 新幹線、MLX01-1 リニア初期モデルの3車両が並んだシンボル展示に始まります。暗い建屋でライトを浴びた車両は迫力満点です。次の建屋には0

系から700系の新幹線、懐かしい在来線特急、寝台車、通勤電車など30を超える車両の展示です。間近に見る実物車両の迫力と懐かしさを感じ、また車両内部にも入ることができ昔の座り心地も体験できます。ドクターイエローの愛称のある新幹線診断車体内では、ビデオによる新幹線の検査や点検、保守作業の紹介があり、多くの人々により新幹線の日々の安全運転がどのように維持されているのかを改めて理解できました。また新幹線や在来線の運転シミュレーター体験、リニア乗車模擬体験、超電導リニアの仕組み展示、巨大な鉄道ジオラマ、鉄道の歴史展示など子供も大人も楽しむことのできる勉強となる興味深い施設でした。

次に、代表幹事報告の後、ドコモテクノロジー(株) 大津徹知的財産部長によるシンポジウムが行われました。

日本の代表企業であるNTTグループ、その中で重要な構成企業であるNTTドコモの事業紹介にはじまりました。NTTドコモが移動体通信分野・業界の急速な技術革新や競争激変の中で、どのような経営戦略や研究開発戦略により現在の通信事業やスマートフォン事業などを展開してきたのかを紹介頂きました。



NTTドコモを親会社にもつドコモテクノロジーは、NTTドコモの研究開発を支える会社で、移動通信に関わる装置・サービスの研究開発、知的財産関係の支援業務等を行っています。講演の中では、移動通信業界における知的財産の課題なども紹介頂きました。

